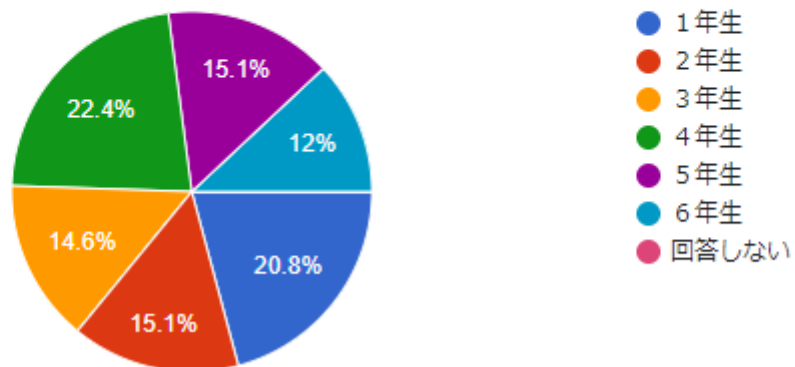


Q1. お子さんの学年

お子さんの学年（ごきょうだいがおられる場合は一番上のお子さんの学年を選択してください）

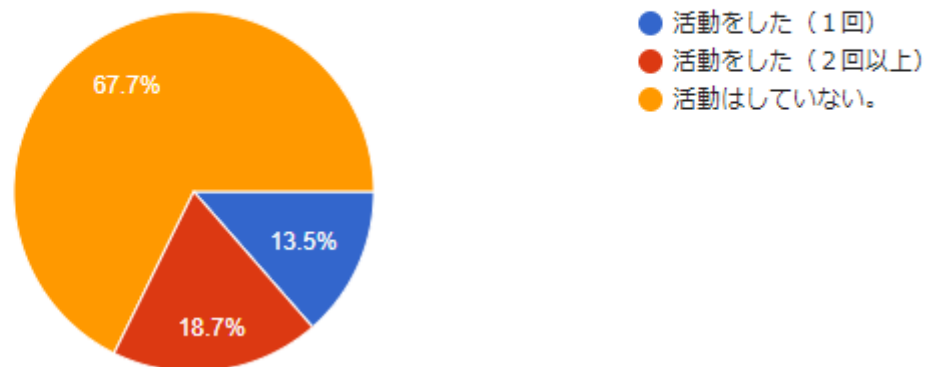
192 件の回答



Q2. 2023 年 4 月～回答日までに見守り係の活動はされましたか。

質問①. 2023年4月～回答日までに見守り係の活動はされましたか

192 件の回答



Q3. 「活動した」と回答した保護者の方への質問（自由記述）

見守り活動をして感じたこと、気づいたことがあれば記載ください。

- ・子供たちと一緒に登校し、その中で見守りをしています。
- ・特に見守りが手薄になる下校時に、新一年生がふざけて、わざと赤信号で横断しているのを数回見かけて、心配しています。
- ・走っている子が多い。
- ・スクールゾーンなのに、車道を走る車の速度が速くて不安になる。

- ・前年のように日時が決まっていなかったので、下の子と、ちょっとお散歩する時、自分が買い物に行く時校区を歩く時、カードを首にかけて気軽に見守りに参加できるのが、とても素敵だなと思います。
- ・学校付近にしか見守り活動中の保護者がいないと感じました
- ・どの程度の人が活動をするのかわからないが、日にちを決めるよりは少ないと思うので心配ではある。
- ・税務署のところにある十字路ですが、どちらか片側にしか信号がついていません。ないときは車の信号をみる、ということを低学年はしらず、信号無視をしたら渡るタイミングがわからなかったりするのをみかけます。
- ・車が怖い
- ・信号を渡る時危ないと感じることがあるので見守り必要だと思います。
- ・登校時間に不審者情報もあるのでできる範囲で見守りが必要と感じます。
- ・冬季間の雪山によっては車同士のすれ違いで歩道に寄ってくるので危険だった
- ・新学期が始まったばかりなので登校・下校時間共に新 1 年生の保護者が多く付き添っていて大人の目がたくさんあって安心だが、今後徐々に見守り活動をする人も減っていくのではないかと思う。放課後の公園でも同じ。
- ・放課後に見守りしたがあまり人がいなかった
- ・みんな交通ルールを守ってました
- ・未就学児がいる場合一緒に立っているには危険もあり、また幼稚園バスなどとの兼ね合いも困難だった。
- ・縁石を歩いている子をたまに見かけ、車スレスレで危ないなと思うことがありました。
- ・みんな挨拶がよくできていて、素晴らしい
- ・北陽公園で遊んでいる時に、カラスの巣が近くにあるのか、子ども達の近くにカラスがいて、危ない場面があった
- ・挨拶をする子供は少ない
- ・スピードを出す車が多い。
- ・低学年・中学年の生徒が歩道のブロック部分を歩く様子が見られた。
- ・朝は送り迎えの保護者が思ったより多く、見守りとしての目線も感じられた。
- ・信号がない道路を渡ろうとしている子がいた
- ・中学生が歩道を横 3 列や 4 列に並んで歩いているので、低学年の子がうまく避けられず、道路側に避けて歩いているので危険だと思いました。北陽中学校と情報共有した方がいいと思いました。
- ・1 年生で荷物を沢山持って登校するのが大変そうな子がいた。遅刻しそうな時間だったが、急ぐ元気もなさそうで心配になりました。
- ・朝の登校時に 交差点(税務署前)に立ちました。新一年生や二年生くらいは、まだまだ信号の確認が不十分と感じ、見ていても不安に感じる場面がありました。
- ・挨拶をしてみたが、何も言わない子も多いなという印象でした。
- ・係活動の際の日時指定などなくても子供の見送り時やお迎えの時に活動ができたし、いつもの時間を使って見守り活動出来る事がすごく良いと思いました。
- ・活動も続けやすい子供たちの安全にも繋がると思っています。
- ・登校時間が過ぎていても道を歩いている小学生がいることが多々あると感じる
- ・登校時は信号を守っているが下校時は気が緩んでいるのか斜め横断が目立つ
- ・登下校、送り迎えで常に子供にくっついてる保護者もごく稀にいるものなんだと驚きました。

- ・低学年の子がいつもカチャカチャと走っていて、、周りから見ても、車側からも怖い。
- ・以前に比べて自由な日時に活動できるので、大変助かります。一ヶ月に2回休みを取るのが大変だったので。
- ・皆挨拶出来て素晴らしい
- ・朝の時間帯は見守りは必要かなと感じました。
- ・時間に限りがないので仕事をしている保護者の方でも見守りはしやすいとは思いますが、信号点滅でも大人につられて走ってく子もいたので危険だなと思いました。
- ・子供たちはしっかりと信号を確認してから横断していた
- ・税務署側に渡る帰り道の信号の点滅が見えないので走って何とか渡りきるようで危ない。
- ・半数くらいの子は挨拶しないです。土地柄もありますが地方の子は全く知らない方にも挨拶します。
- ・また昔のように、黄色い旗があるとわかりやすいかなと思います
- ・税務署から学校へ向かう間の道路のカーブが危ないです。
- ・車道ギリギリを歩いている子もいて危ないと感じました。
- ・登校時など、数人が横並びに歩いていてすれ違うときや後ろを歩く歩行者の妨げになっているかなと感じます
- ・ちゃんと信号を守って登校していると思った。
- ・工事をしている所があるので、前を通る時は気を付けた方が良くと思いました。
- ・他に活動してる人をほとんど見ない
- ・あいさつがある子ない子いろいろいるなと感じた
- ・春、夏休み明け、冬休み明けの登下校時間に、見守り活動を行うのが良いと思う
- ・明るい時期は17時を過ぎても遊んでいる子がいる
- ・仕事帰り道、下校時間や17時頃見守りをしたが、それでは見守りをしている雰囲気ではなかった。
- ・雪の季節よりは遊びも少なく安心して見ていられた。
- ・日にちなど、決まっていないので、やりにくさを感じました。
- ・信号のない所を渡ったりボールをわざと道路に投げて車を止めたり指導が必要と感じました。
- ・自分の子どもを途中まで見送るついでに他の子どもの様子を見る程度でした。時間が縛られる訳ではないのでやりやすい。
- ・小学生の安全を守ることがよかったです
- ・4月に昨年度の分の見守りを2回しました。朝の決まった時間の見守りは大変かも知れませんが、交通量も多いので安心感はあるかなと思います。また、5月から見守りの時間が自由になった分、付きそう保護者が多くなったように思います。
- ・子供が横断歩道からはみ出して歩く事があり危なく感じた。
- ・冬は歩道の除雪が追いつかないためか信号近くの雪山で車の動きが見えづらく、危なく感じた。
- ・去年は真夏でもマスクをして真っ赤な顔をして歩いてる子を多々見かけ熱中症が心配だった。
- ・中学生がななめ横断をしているので、小学生も真似をしないか心配になりました。
- ・しっかりと周りを確認している姿が見られた。
- ・元気な挨拶をしてくれる。

Q4. 「活動はしていない」と回答した保護者の方への質問（自由記述）

活動をされていない理由を記載ください。例：ほかの係についている、時間がとれない、

どのように活動すればいいかわからない、など。

- ・活動の詳細不明確
- ・7月と3月に当たっているので、これから活動する為。
- ・仕事で忙しい
- ・どのように活動すればいいかわからない
- ・下の子が幼く、なかなか時間が取れない為。
- ・まだ担当月になっていない。ただし登下校時に送迎した場合は周りの児童を見守るようにしています。
- ・活動の仕方がよくわからない
- ・今後行う予定です
- ・時間がとれない
- ・どのように活動すればいいのかわからない
- ・自身の通勤途中に学校があり、子と一緒に登校時に他の子も見守っているため
- ・時間がとれないため。
- ・どのように活動すればいいかわからない
- ・仕事の出勤時間が5時だから、時間が合わない
- ・時間がとれない
- ・どのように活動をすればよいのか分かりません。
- ・学年の活動担当月が7月と3月なのでまだしていない。
- ・3月は下の子の幼稚園バス時間が行き帰りともに重なるかもしれないので活動が難しいかもしれない。
- ・冬は歩道の道幅も狭く、横断歩道近くに立つのは困難になるので見守り活動は必要ないと思う。
- ・仕事に間に合わない
- ・間がとれない
- ・まだ活動時期でないため
- ・日時が決まっていないと正直忘れてしまう。
- ・割り当てられた月ではないと思っていたので。
- ・どのように活動すればいいかわからない。時間がとれない
- ・当番の月じゃなかったから
- ・4年生は7月と3月だと思っていますが、、
- ・活動する月がまた来ていないため
- ・担当月の10月と2月にやろうと思っているため。
- ・活動内容詳細を理解していない
- ・時間が取れない。いつでもいいと、いつやったらいいのか戸惑う
- ・時間がとれない。
- ・まだ活動日がきてないから
- ・指定のあった1年生の見守り活動月ではなかった為。
- ・どのように活動すればいいかわからない
- ・どのように活動するのかかわからない
- ・3年生の割り当て月がなかったから
- ・仕事と育児両立している為、できる時間ない
- ・忘れていました

- ・まだ見守り月ではないから
- ・時間が取れていない
- ・病気で、朝など起きられません。
- ・活動の日にちがわからない。
- ・時間が取れない。
- ・4年生は7月が担当のため
- ・保護者が行う分には、費用対効果の観点から、通勤中に児童を気にかける程度で十分だと考えているので、貴団体における「見守り活動」をしていない
- ・仕事に行く時間の方が早いため
- ・4年生は7月と3月だから
- ・いつか活動しよう、のまままだ行動できていない。
- ・時間が取れない
- ・1年生で下校時間も早く時間がとれない
- ・息子が情緒不安定なため
- ・なにをやるかわからない
- ・仕事で時間がとれなかった
- ・時間が取れない
- ・まだ該当月ではないので
- ・忘れていました。
- ・忘れていました。
- ・学年で『〇年生〇月に活動』と割り当てられていると思っており、自分のこどもの担当月はまだだと思っていたから。
- ・どのように見守りしたらいいのか、分からない。
- ・通学路で下校時に10分程、子供が出てくるまで平日は立ってます。
- ・どのようなことをすれば活動したことになるのかがわからない。
- ・担当月ではない
- ・未就学児がいる為に交差点に立つのは大変
- ・まだ担当の月になっていないため
- ・そもそも見守りサービス係りではない
- ・やっている人がいるのかわからないから
- ・去年までのように日時を決めていただいた方が活動しやすかったです。見守りはいつでもいいので、となるとなかなか、難しいなと思いました。
- ・未就学児が2人いるから
- ・時間がとれない
- ・仕事が朝早いので時間がない、平日は毎日朝から仕事
- ・どこにいつ立つかのプリントを紛失したため。
- ・10月と2月が活動月のため
- ・2歳の育児で時間が取れない
- ・仕事をしていて時間がとれませんすみません
- ・3年生の月の担当を忘れてしまっていました。

- ・ タイミングがよくわからない。
- ・ 時間がとれない
- ・ 転校してきたためかっがわからない
- ・ 下の子の幼稚園のバス時間がちょうど見守り係の時間帯と被るため
- ・ 忙しくて時間が取れていない
- ・ する暇がない
- ・ どのように活動すれば良いか、イマイチわからない
- ・ 1年生の担当月いつでしたっけ
- ・ 下の子の幼稚園の時間などもあり時間が確保できない
- ・ まだ連絡がきていない。まだ月が来ていないと思われるので。
- ・ どのように活動すればいいかわからない。
- ・ 見守りの月ではなかったから
- ・ 4年は7月となっていた為
- ・ まだ活動の月ではないから。
- ・ 7月だから
- ・ 例年通りの月に活動しようと考えていたため
- ・ 平日は仕事があるので活動できない
- ・ 担当の月に行くことを考えていた
- ・ 時間が取れない
- ・ 登下校の時間帯に時間がとれなかった。
- ・ 活動の月じゃない
- ・ どのように活動すれば良いかわからない
- ・ 時間がとれない
- ・ 日時が決まっていないので、これで出来ているのか？良いのか？と言う感じです。
- ・ 担当の月では無いため。
- ・ 6月が持ち回りなのを失念していた。
- ・ まだ担当の月でないため活動していません
- ・ まだ担当月ではないから。
- ・ フルタイムで仕事をしている為、仕事に余裕がある時にお休みを貰い活動しようと思っていたが、余裕がなく、日にちが特定されていないと無理をしてまで活動が出来ず、大変申し訳ありませんでした。
- ・ 他の係について
- ・ いつでもどこでもだと、活動しにくい。
- ・ 時間が取れない
- ・ 仕事で活動出来なかったので来週する予定です
- ・ なかなか時間がとれない
- ・ 体調不良
- ・ 活動方法がわからない
- ・ 活動の仕方がわからない
- ・ 7月に入ったらと考えていた
- ・ 去年までは他の係についていた。今年はまだ当番の月が来ていない。

- ・3年生の担当月じゃないので。
- ・仕事をしているため平日での見守りがむずかしい。
- ・まだ担当の活動月がきていないため。
- ・いつ行けば良いか分からない
- ・通勤のため朝の見守りは仕事を休まないと出来ないダメ
- ・まだ先でも大丈夫だと思っていた。
- ・自分の子供を出勤時に見送るのが精一杯です。
- ・学校から何も来ていない
- ・まだ当番月ではないため
- ・時間がない
- ・8月が割り当てだとおもっていた。
- ・具体的にどのように活動してよいかわからない

Q5. お子さんの登下校について不安な点・心配な点があれば記載ください。

- ・小学校近くのカーブの部分など、歩道が狭く車道に近い道があるので心配です。
- ・登下校する道を抜け道に使っているドライバーが多く、スピードを出しているのが心配です。
- ・一部、歩行者用信号機が西日で見づらく他の信号の状況を見て判断しているとのこと。お子さんによっては危険なこともあるのではないかと思います。
- ・緑コースのローソン前交差点、校舎すぐ傍の細道は交通量もあり心配です。
- ・狭い歩道があるので、飛び出さないか心配
- ・車や不審者など心配はありますが、大人の目があるとやはり安心はできます。
- ・カラスの襲撃
- ・危険な速度の車が走っているため心配。
- ・信号無視の車がいた。指をさしてきたり、何を言っているのか分からないけど一人で喋りながら自転車を運転しているお爺ちゃんを見かけたそうです。
- ・道が狭いところがあり少し心配
- ・入学して約2ヶ月あまりですが、変質者情報が多いと感じる点で心配です。
- ・車通りが多いこと。歩道が狭いこと。
- ・少し歩道が狭くなってる箇所があるため、ふざけて歩道の縁石を歩いてしまいそう
- ・スピードをだして走る車がたまにあり、ヒヤッとします。
- ・信号のない道路の横断
- ・車との事故が不安
- ・登下校の時間帯に不審者情報があると1人で登下校させるは不安です
- ・冬、歩道が一部除雪されていないので車道に出ないといけなところ。
- ・車や自転車との事故
- ・信号のない交差点が心配。
- ・大きな交差点(信号がある)よりも中道が車も飛び出してくるので不安
- ・青信号になった瞬間に走り出す。
- ・交通事故も心配だが、不審者による声掛けも心配。

- ・一人で帰っている子がいたら、他者に声掛けられないか心配
- ・まだ一人で登下校が不安です
- ・今は特に不安な点はありませんが、5月末から6月始めにカラスが子供達を襲っていたのを目撃しました。カラスがいる間は登校ルートを親同伴で変更したりしていました。不審者の他、カラスの情報などご連絡いただければありがたいです。
- ・信号がない所の横断
- ・車や歩道を走っている自転車とのすれ違いなど。
- ・友達とふざけて道路に出たりしていないか。
- ・小学校までの六花亭からの一本道の歩道の道幅が狭すぎて、友達大勢と帰ると車道に飛び出さないか心配になる。
- ・歩くのが遅い。
- ・不審者の出没が心配
- ・下校時、見守りの目線が少ないと感じる
- ・遊びながら登校している子が押し合いをしていたりすると道路に出てしまうのではないかと心配になった
- ・車、自転車に気を付けながら学校に行けるか。
- ・特にありません。心配してもキリがないので。
- ・遊びながら走って登下校している点
- ・近隣地区での不審者情報が多い点
- ・場所によってカラスが襲ってくることがある
- ・カラスが怖い
- ・車通りが多い道路、遊びに夢中になっての飛び出し
- ・周りを見ていなく、車にひかれそう
- ・友達が休みだと、遅くなり、周りに登校する子どもたちが少ないこと。
- ・雪道になると通学路が狭く段差が多いこと。
- ・雨の日の傘をさしての登下校は、視界が悪くなったり、風に煽られ傘がぐらつくことにより、車道へはみ出たりしないか、特に不安です。
- ・不審者
- ・帰りは同じ方向のお友達が少ない。
- ・不審者 寄り道
- ・雪が積もると歩道がなくなるので心配
- ・不審者や不慮の事故
- ・住所はわかりませんが、藪中？さんというお宅の塀が場所を取り道幅が狭い
- ・冬の積雪時時はシティハウスマンションも通路が極端に狭いため心配です
- ・冬季間は、雪山があつたりするので、交差点に見守りがいた方が安心だと思います
- ・ふざけながら歩いて車を見ていないのではないか
- ・お友達と押したり押されたりしながら歩いていたりすることがあり道路に出てしまわないか心配
- ・カラスの襲撃
- ・登校時は交通量も多く、急いでいる車も多いと思うので、やはり交通面が心配です。
- ・左右確認をきちっとしているかが不安。

- ・特に下校は学年で時間が違うので、変質者も多く心配はあります。
- ・車や自転車と接触しないか。不審者にあわないか。
- ・冬場は雪で歩く場所が無くなるのが毎年心配
- ・事故が多い、信号のない交差点を通るので不安
- ・信号のない交差点で見通しが悪いところがあり心配です
- ・交通事故
- ・校門の前に 1 人先生が帰りにいると安心します。昨年玄関先傘でお友達たたいている児童をとめに入りました。指導してほしいと先生探しましたがおらず、5 分程生徒を手で抑制して他の生徒に呼んできてもらう事になり困りました。
- ・不審者が時折現れているところが不安
- ・冬に雪で歩道が狭くなったり、車が見えにくくなっている時
- ・登下校途中の急カーブによる車の事故
- ・交通量、信号機が歩行者にはついてなく、自動車側の信号機で確認しないといけない場所がある。
- ・交通量が多い場所や歩道が狭くなっているところなど、お友達同士で話していたり、走っていたりすると道路に飛び出してしまわないか心配です。
- ・自転車との衝突事故、横断歩道以外をふざけて横断してしまうこと。
- ・通学路にあるごみステーションにカラスがたくさんいる時は、そこを通るのが怖いそうです。
- ・学区の端側なので、人通りが少ない
- ・信号機のない歩道をわたる時や、工事現場の近くを通る時。
- ・校区内でたまに猛スピードで走行する車を見かけるので、心配です。
- ・見守り活動が任意になった為、実際に見守っている人がほとんどおらず不安
- ・個々に任せた見守りは自由度は高いですが…
- ・以前のような朝の見守りの保護者は減っていると感じます。
- ・不審者の出現とそれに対処できるのか心配
- ・雪が積もり始めると雪山で通学路の横断歩道の先が塞がれていることが毎年のようにあるので大丈夫かと心配です。
- ・不審者
- ・2 年生まで付き添いをしていたので不安はなかった。他の子の行動を見ていると、親は自分の子供がどういう行動をとっているか知らないのではないかなと思う。
- ・無事についたか分からない。
- ・お喋りに夢中すぎて信号の色を気にするタイミングが遅いことがある。
- ・歩道の幅が狭い所があるので、雪が積もった時には特に心配です。
- ・道路を渡る時の車確認ということです
- ・年間を通して車。夏場は、自転車の走行も気になります。北陽小の児童では、目にする事はないですが斜め横断です。
- ・「いってきます！」と言って家を出て行きますが、左右を確認してから道路を渡っているのかとか、車の不注意で子どもが怖い目に遭っていないかは心配しています。
- ・朝の急いでる車が心配
- ・下校時、不審者、変わった方多く感じる。1 人ではなかなか帰らせられない、不安
- ・知らない人や変な人に声をかけられたら等

- ・車だけでなく自転車にも気をつけてほしい。
- ・自転車との事故が心配（特に朝）
- ・交通事故
- ・通学路にとってもスピード出す車が毎朝出没する。交通量が多い
- ・信号のある横断歩道だけでなく、路地裏から車が出てくるような道や、コンビニの駐車場付近での車の出入りが不安。細い道や周りから見えづらくなる場所が心配です。

Q6. お子さんの登下校について「どのような見守りや工夫があれば安心できそう」でしょうか。ご意見があれば記載ください。新入生オリエンテーションについての要望・意見・感想（自由回答）

- ・見守りが自由な参加になったことは、良い面もあると思いますが、いつ行えばいいか逆に迷ってしまったり、難しい面も多いように思います。
- ・車通りが多い交差点を重点的に見守る。スピード違反の車への注意喚起（スクールゾーンだということに気付いていないドライバーも多いので）。
- ・見通しの悪いカーブがあるので、車の運転手に目立つような目印があればいいと思う。
- ・大きな交差点には毎日登下校時に保護者が立つ
- ・通学路に防犯カメラ設置
- ・登下校時間に警察パトロール
- ・集団下校
- ・登校ギリギリの時間に校区を歩いている子を見かけることがあり、その子に直接声かけしていいものなのか迷う時があります。今はなかなか知らない人からの声かけも迷惑なことがあるので、難しいですね。我が家はなるべくギリギリの時間にならないように気をつけようと思い、お名前を知らない小学生には話しかけるのは今のところしていません。
- ・安心できる解決策はないと思います。
- ・付き添いで行かない限りは、見守りでは限界があると思いますし、死角もあり心配です。
- ・何かあってからでは遅いと考え、毎日付き添いで登下校しております。
- ・以前のように日程を決められていたほうが見守りできる
- ・交差点での見守り
- ・信号がない交差点に大人がいると安心
- ・監視カメラを通学路に設置して欲しい
- ・登下校のルートごとに見守り係がいると安心かと思います
- ・大人の目があることが大切だと思います
- ・今年から校区内であればどこでも見守りできるようになったので、信号のない交差点でも見守りするようにしたいと思っている。
- ・車の運転手が下校時間だと気づきやすいように、なるべく大人数で下校したら安心できそう
- ・日にちを決めてもらう方が、必ず誰かがいてくれるという安心感があります。
- ・できるだけたくさんの「大人の目」があれば声掛け等の抑止になると思う。付き添い登校や、可能であれば出勤時間を子どもの登校時間に合わせるのも有効だと思う。
- ・低学年は、区域が同じ子と一緒に帰る方が安心かと感じた。

- ・今のままでも十分機能されていると思います
- ・交通量の多い交差点に大人がいると安心できます。信号機のある場所だけではなく、横断歩道の無い一時停止の交差点に見守りの方がいていただけると大変ありがたいです。
- ・見守りする場所を広範囲にすると安心。人の少ない端の通学路のほうが不安。
- ・110 番の家をこどもたちに知らせておく
- ・現状維持で良いと思います
- ・登校したら親に通知がいくシステムなどあれば、安心できると思います
- ・信号が無い所が不安です。
- ・大人の目があると安心するかも？
- ・外部に委託して、しっかり誘導と注意喚起が出来る人が望ましい。ただ立っているだけでは、あまり意味がないと思う。
- ・声かけなど。

・印象論・感情論による見守りではなく、科学的根拠に基づいた有効な手段であれば安心できます。まず何から見守るのかの観点で「危険な交通車両から」・「不審者から」の2点に分けて考えました。「危険な交通車両から」守るのは残念ながら不可能に等しいと考えます。歩道に車両が突っ込んできたら、悲しいことですが避けられません。むしろ見守りの大人がいることで犠牲者が増えます。さらに見守りの大人が下の子と一緒に連れていたら、犠牲者が増えます。誰が責任を取るのでしょうか。

一方、「不審者から」の見守りについても、「不審者」の定義が曖昧であり、目撃者の印象一つで誰でも不審者となり得てしまうため、対策を考えるのが難しいと感じました。その上で、都内の話ではありますが「警視庁子ども・女性の安全対策に関する有識者研究会」（平成29年9月）が非常に参考になりました。

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/anzen/anshin/kodomo_josei_anzen.html

「発生時刻のピークは、小学生は 15 時台から 17 時台」、「子どもの被害は、登下校時の被害よりも、下校後になされる遊び・塾・習い事への外出時の被害が多かった。」、「子どもに対する犯罪は、下校後の遊んでいるとき、習い事・塾への行き帰り、児童館や図書館等の施設利用時やその行き帰りに発生することが示された。これらは、PTA や学校主体の安全対策は及びにくく、従来型の防犯ボランティア団体によるパトロールや見守り活動にも馴染みにくい。このため、習い事や塾の事業者、児童館や図書館等の施設管理者と連携して安全対策を進めることが必要である。習い事や塾の講師は子どもにとって身近な存在であるため、習い事や塾に関しては、送迎や見守りといったことだけではなく、講師から子どもに対する防犯のための働きかけや配布資料を通じた安全情報の提供が有用である。」、「多くの小学校では、PTA による地域防犯パトロールを行っているが、こういった取組の中には、その内容や必要性に疑問があるものもある。」(P137)、「母親(女性)は PTA による防犯パトロールなどで見守り手になる一方、ターゲットにもなり得てしまうため、パトロールの時間の設定は難しい。」

(P137) の記載が印象的です。大人が物理的に単に見守るのは有効でないだけでなく、共働きの保護者が発生ピークの夕方に見守りをするのは現実としてほぼ不可能です。お手数をおかけしますが、上記のように、周囲の施設管理者等と連携しつつ、街路灯や防犯カメラの設置及びその存在の周知などを重層的に行なっていくしかないと思います。

- ・登校時だけではなく下校時間に合わせて見守る
- ・車通りの多い道に居てくれると安心
- ・町内会で交通安全の旗を持って見守りボランティアをやっていた方がいるとありがたい。

- ・決められた登下校ルートを外れて下校している生徒がいるので、ルートを守るように呼びかけをする
を帰り道は 1 人で帰っている子もよく見るので、下校時に大人が見回りをしていると安心かなと思います。
- ・挨拶の声かけをしたいなと思うのですが、不審者にも挨拶を返してたら…と思うと難しい時代だなと思います。
- ・同じ時間に一緒に登下校できる子がいれば安心できる
- ・新学期は当然ながら、雪が積もり出してからの方が心配なので、大変だとは思いますが冬場は強化してもいいのでは？
- ・現状問題は無いと思う
- ・北税務署周辺には見守り隊がいるようですが、藪中さん、シティハウスマンション前に見守り隊がいないため、誘導してくれる方がいると有り難いとはおもいます、、
- ・今のままで良いと思います。
- ・下校時(放課後)の不安は、やっぱり変質者なので、校区内を保護者が買い物ついでに歩いているだけで多少は安心します。
- ・わからない
- ・出来るだけ同じ方向のお友達と帰る
- ・学年を超えて同じ方向の子ども達で登下校する日を作りお互いを認識させる。
- ・除雪をきちんとして道を確保して欲しい
- ・その交差点に 1 名教員が立つ
- ・学校前の 1 本道の通学路上で何かあった場合に生徒が困らないよう、sos を聞いてくれる方がこの場所にあると生徒や保護者にもお知らせあるといいなと思います。見守り中も何かあったらどう対処したらいいのかと私は不安でした。
- ・特に冬の雪道が車からの死角ができており対策は必要かと思います。
- ・見守りの人が、青信号の時に「渡っていいよ」点滅信号の時は「止まって」のように、旗を使ってわかりやすく指導してもらえると安心だと思います。
- ・なるべく沢山の人が道路に立っていると安心だが、仕事がある人が多いと思う。時間に余裕のある方だけでも行ってくれれば助かる。
- ・ガードレールを設置してほしいと思いますが難しいと思うので危険な場所だけでも登下校時、親の見守りがある方が安心です。
- ・人が立って見守る。通学路の大きな看板を立てる。
- ・各交差点にみまもり人がいると安心できそうです。
- ・登下校時に学校の門を入った時、出た時に保護者に通知が来るサービスの導入
- ・現状通り保護者による見守りと、日頃から子供たちに危険性などの声かけをして、意識付けをする。
- ・極力集団下校する
- ・登下校途中に駆け込める場所
- ・登下校時の警察のパトロールや見守り
- ・心配なら自分で見守ればいい。他人に見てもらって安心できるわけがない。早く GPS 付きキッズフォンを許可してほしい。ついたもんの話もまったくすすんでいないまま卒業になりそう。
- ・挨拶をし子ども自身も見守られていると思えたり、また不審者にも見守りをしている。と見えるだけで、ほんのわずかでも抑止力に繋がるのではないかと思います。

- ・他校のように「ついたもん」を導入してほしい
- ・月に一度、又は季節の変わり目などには、保護者が、通学路を子どもと一緒に歩いて、気をつける事を確認することと、家庭と学校での注意喚起を定期的に行うこと。
- ・やはり、交通量の多い交差点や危険な一時停止の場所に大人が立って見守るのが一番安心できると思いますが、それが難しいなら、子どもやドライバーに注意をしてもらえそうな看板等を設置したり、児童のおじいちゃん・おばあちゃん、もしくは地域の方でボランティアでやっても構わない方がいらっしやれば見守り活動に協力していただけたら、子どもたちも安心だと思います。
- ・大人の交差点等の見守り
- ・通学路中心に、監視カメラ設置
- ・見守りも自由な時間にしたら見守りをやっているのかやってないのかわからないのでは？と思います。
- ・登下校の時間帯が大事なのではと思いますが色々難しいですね。
- ・子供を見送る親の姿があるだけで安心感は出ると思う
- ・見守りで危なそうな場面があれば、なるべく声をかける。
- ・春先や雪が降る前など、交通安全について注意事項を伝え子供たちがルールを守ったり注意点等意識できるようにしていくと良いと思う。
- ・沢山の大人の目。放送を流すとか街宣車みたいなもの
- ・車の行き来が多い場所に見守りとわかる大人が立っているだけでも、運転手の注意を促すことができそう。特に下校時も、わかりやすく大人の目があれば犯罪を防ぐことに繋がるかもしれない。

Q7. 4月から回答日までの間、学校の行き帰りに「不安なこと」「心配なこと」「怖いこと」はありますか（今までありましたか）。

- ・ゴミ捨て場付近にカラスがおり、通行が危険な時がある、との事です。
- ・ないそうです。
- ・下校中、信号無視の車がいた事と下校中、指をさしてきたり少し大きめの声で喋りながら自転車を運転しているお爺ちゃんがいたそうで、すれちがう時怖かったと言っていました。
- ・知らない人に話しかけられて困った
- ・車通りが意外に多いため不安
- ・なし（登下校親付き添いのため）
- ・高校生や会社員の自転車の飛び出し
- ・不審者に出会ったり、車に轢かれるかもしれないこと
- ・事故や不審者の話を聞くと心配になります
- ・不審者が出たと聞くと怖い
- ・家の近くで不審者情報を聞いた時少し怖かった。
- ・つくしんぼへ毎日行くので心配無しです
- ・カラスが近くを飛んできたり、他の子を攻撃していて怖かった。
- ・交通量の多い交差点の通行
- ・交差点で車が勢いよく飛び出てくるからこわい。不審者情報を耳にすると着くまでずっと不安が拭えない。
- ・不審者情報があり、襲われないか、心配。

- ・子どもに聞いたところ「あんまりない」とのことでした。
- ・カラスが怖い
- ・カラスに襲われること
- ・不審者が出た時に怖い思いをした
- ・ゴミステーション周りにカラスがいると回り道をすることがあります。とても怖いです。
- ・後ろから自転車が来るのが怖い時がある
- ・仕事の都合がつかず、見守りがなかなかできませんが休める時は通学路で見守りをしたいとおもっております。
- ・変な人？が自宅周辺にウロウロしていて怖かった
- ・カラスが怖い
- ・不審者の声掛けがあることに不安
- ・毎日立っていてくださる先生方や地域の方々に大変感謝しています。
- ・友達に違う道で行こうと言われた
- ・1人で歩くのがまだ不安
- ・同級生の女の子が若い男に声をかけられたと聞いた
- ・友達がお休みしてしまって1人で行く時に怖いなと感じた。
- ・信号がない交差点をとおるとき
- ・なかったけれども、不安でした。
- ・不審者が出たら怖いと思いますが、実際に怖い事にあったことはないです。
- ・不審者がたまにでるとこ
- ・通学路に不審者が現れた事で不審者が来ないかが心配です。
- ・カラスが怖い。
- ・知らない人から声をかけられた
- ・以前におじさんから児童へ声かけがあったのを聞いて、怖くて不安になりました。
- ・不審者が出た
- ・カラスの攻撃と不審者の目撃情報が怖い
- ・不審者情報があったので心配だった
- ・変質者がいた話を聞いて怖かった
- ・近所での不審者情報に不安を感じた。
- ・右折しきれなかった車が横断歩道に半分位かかって停車していて、歩行者の信号は青だけど、その車がバックしてきたりしたら怖いから信号が渡れなかったと子どもが話していました。結局、子どもたちが気をつけていても、ドライバーの不注意等で子どもが怖い思いをするんだなと思いました。
- ・あった
- ・家の前に知らない車が停まっていた
- ・ふしんしゃがでたと言われるとすごくこわくなる。
- ・路地から急に車が出てきて、危なかった。
- ・車にひかれそうだった
- ・特になかった。

2023年7月4日

作成：鈴木和